

[様式2 (汚染水処理対策委員会に報告し、一般公開となるものです)]

御提案書	
技術分野	⑤ (「技術提案募集の内容」の該当番号を記載願います)
提案件名	敷地山側からの地下水量を低減する提案 1案：連続地中壁（コンクリート）による地下水流入抑制
提案者	中部電力株式会社
1. 技術等の概要（特徴、仕様、性能、保有者など）	
<p><施工概要></p> <p>安定液を用いて掘削壁面の崩壊を防ぎながら地下に壁状の溝壁を掘削し、これに無筋、鉄筋コンクリートの連続した壁体を地中に構築する。</p> <p><特 徴></p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期的な耐久性を持つ恒久対策である。 ・周辺地盤を乱さないので、近接施工が可能。 ・施工時の騒音、振動が少ない ・ほとんどの地盤条件に適合できる。 ・鉄筋コンクリートとすることでひび割れに強く、非常に遮水性がよい。 <p><工事概要></p> <p>(A案) 流入抑制対象1～6号機 (B案) 流入抑制対象1～4号機 施工延長：A案約4.6km B案約3.7km ※隔離すべき汚染源や施工エリアの状況が正確に把握できていないため、最大限の範囲を設定した。</p> <p>施工深さ：A案平均19.6m B案平均20.4m (T3部層砂岩より下部へ2m根入れ)</p> <p>壁面積：A案91,000m² B案75,000m² (施工延長×平均施工深さ)</p> <p>壁 厚：1.5m</p>	
	
2. 備考（以下の点など、可能な範囲で御記入いただけますようお願いいたします）	
<ul style="list-style-type: none"> ・開発・実用化の状況（国内外の現場や他産業での実績例、実用化見込み時期を含む） <ul style="list-style-type: none"> ○国内外において基礎工事や立坑壁での実績が多数ある。 ○「地中連続壁基礎工法 施工指針（案）」が整備され、技術は確立されている。 ・開発・実用化に向けた課題・留意点 ・その他（特許等を保有している場合の参照情報等） 	